

川崎医学会運営委員長 大槻 剛巳

岡山の夏といえば、第一週の土曜日から始まる「うらじゃ」と「花火大会」、さらに同日は倉敷市の玉島地区や水島地区でも夏祭りが開催されます。しかし、川崎医科大学での夏のフェスティバルといえば、やはり第一週の土曜日に開催される学術集会ですね。

**第6回
川崎医科大学
学術集会**



川崎医科大学
学術集会

2015年8月1日 (土)

**福永学長の開会の辞
そして柏原研究担当副学
長の進行で始まりました**

昨年度発足しました「西日本医系大学知的財産ネットワーク」参加大学より
・岡山県立大学
・福山大学
の皆様もご参集され、ポスター発表と共に、最初のoral sessionではご報告も頂戴しました。



今年で6回目を迎えた川崎医科大学学術集会は8月1日、猛暑の最中ではありましたが、盛況に開催されました。また、共催として川崎医学会が関わっており、ランチョン総会ならびに川崎医学会賞の授与式と受賞記念講演も無事に終了いたしました。

今年度の特徴は、昨年度発足しました「西日本医系大学知的財産ネットワーク」参加大学より

- ・岡山県立大学
- ・福山大学

の皆様もご参集され、ポスター発表と共に、最初のoral sessionではご報告も頂戴したことでした。両大学ともに、医系の学部も有しながら工学系や情報系の学部を持たれていらっしゃる総合大学ですので、川崎医科大学が医学科単科として展開している研究と異なり、医工連携という言葉で象徴されるような複合的な展開のプロジェクトが熟成しているようで、非常に興味深い内容でした。それぞれポスターでは5題の演題をご提供いただきました

し、最初の口頭発表セッションでは、岡山県立大学地域連携機構・機構長でいらっしゃる渡辺先生、そして福山大学社会連携センター長でいらっしゃる町支先生よりのご発表もありました。岡山県立大学では独自に産官学連携への取組を広く地域の方々や企業・団体へ周知する目的で、毎年開学記念日(5月29日)の前後にOPUフォーラムを行っていらっしゃいますし、福山大学でも「オンリーワン備後ハイパー備後にするヒントがここにある」というキャッチコピーで、8月9日に「福山市ものづくり交流館」で2015年度福山大学研究成果発表会を催される予定のようですが、今回は、賛同していただきました。医系大学知的財産ネットワークでのご参加ということで、川崎医科大学とも交流を深めていただいたように感じております。今後、このネットワーク組織としては、協同研究の開発や、その基盤に立脚した産官学連携事業などの展開も必要となりますので、今回の機会は、まさに時期を得たよい協働事業になったのかと思っています。

さて、タブレットやスマートフォンで閲覧していただける抄録集(川崎医学会誌第41巻補遺号)も慣れてきていただいたと思えますし、参加者も多く、充実した学術集会になってきていることが実感できる開催でした。

そして例年通り、表彰が行われました。

- ★ 最優秀発表賞：鶴田 淳 先生 (消化器外科学)
- ☆ 優秀発表賞：武井 直子 先生 (衛生学)・浪越 為八 先生 (腎臓・高血圧内科学, 代理発表・佐藤 稔 先生)
- ◆ 最優秀ポスター賞：小野 公嗣 先生 (解剖学)
- ◇ 優秀ポスター賞：松野 岳志 先生 (大学院生・解剖学) 後川 潤 先生 (微生物学), 桑原 篤憲 先生 (腎臓・高血圧内科学), 原 裕一 先生 (肝胆膵内科学)



鶴田先生



武井先生



うなまきゅりな
ミルフィーユ



ぎょざまきゅりな
モンブラン



佐藤先生 (浪越先生)



松田先生
中央研究センター・
バイオイメージング
ユニット



うなまきゅりな
みたらしあんこ



たご焼きにしか見えない
シュークリーム

このようにそれぞれの受賞者が決まりました。毎年、川崎医学会から副賞をお届けしておりますが、今年は「うなまきゅりなミルフィーユ」と「ぎょざまきゅりなモンブラン」とさせていただきます。なお、これらは冷凍されていたので、お集まりの先生方には、「焼き鳥

そっくりなみたらしだんご」と「たこ焼きにしか見えないシュークリーム」を試食していただけるように事前に解凍しておきました。なかなか好評で、さて、次年度は何にしましょうか。

加えて、昨年度から始まった試みとして中央研究部からの発表があり、今年度は「バイオイメージングセンター」からの報告を、松田先生にご報告いただき、研究への支援体制やスキルの紹介がされました。これもまた素晴らしい内容で、我々川崎医科大学の研究者の恵まれている点を改めて痛感させていただく良い機会になりました。

なお共催の川崎医学会では、ランチョン形式の会員総会ならびに評議員会を設けておりますが、今年度も学外のペーカリーショップからサンドウィッチを準備させていただき、昨年とはまた異なった味わいで大好評でした。

また川崎医学会では、研究奨励賞ならびに機関誌掲載論文からの論文賞を表彰しておりますが、今年度、1名の先生が所用でご欠席でしたが、奨励賞の2名、論文賞の2名の先生方に対して総会後に授与式を行い、ポスターセッションの最後、学術集会の賞の審議時間帯で、受賞講演発表をしていただきました。いずれも賞の名を凌駕する充実した内容のご発表で、非常に感銘を受けました。

が昇華していく中で、時々マイルストーンとして本学術集会も発展していくことが、期待されます。



川崎医学会・医学会賞・授賞講演



論文賞・蛭川先生

奨励賞・岩下先生

奨励賞・黒瀬先生

論文賞・蛭川先生は所用にてご欠席のため、次年度に表彰させていただきます。



ランチタイムの総会に引き続き、授与式を挙行いたしました。
おめでとうございます！

ランチョン総会



運営委員長
大槻先生

運営委員
佐々木先生

会計担当
山内先生

講演会担当

今年は倉敷市の「サニーサイドカフェ」さんのサンドウィッチでした。大好評！



さて、これからは「西日本医系大学知的財産ネットワーク」を中心に、産学官連携活動も含めた大学連携による研究活動の活性化が、さらに求められる時代に入ってきました。岡山大学その他による「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」への参画も含めて、将来的に疾病で苦しむ方々の福音となるような研究を、基礎研究レベルから発展的に臨床への導入までも視野に入れて、研究活動の促進が一層追求される状況かと存じます。学内のプロジェクト研究を中心にして、今後益々本学の医学研究